

温 強 活

おん

ごう

かつ

(思いやりのある子)

(がんばり抜く子)

(進んで学ぶ子)

山口市立小郡小学校
2019 年度 校長室だより

第 34 号

〈R.2. 1.21 〉

人権教育参観日 たくさんのご来校ありがとうございました。

◇授業参観・・・各クラス、道徳の授業を公開しました。保護者の皆様の感想から。

- ・写真等を使つての授業、子どもたちも机に前のめりになって見入っており、積極的に発言し、和やかな雰囲気でした。帰宅してからも参観授業の話を一息懸命してくれたので、心に何か感じるものがあったのだなあと思いました。(なかよし)
- ・親切や人を助けるのは、大人でも勇気のいることですが、子どもたちには、見て見ぬふりをせず、助けてあげられる人になってほしいなど改めて感じました。(たいよう1)
- ・自分の考えを自分の口で発言できていた事にびっくりしました。授業内容も身近に感じられるものだったので、子どもたちも一生懸命取り組んでいた気がします。(たいよう2)
- ・「友達の良さ」に気付くことはできても、「自分の良さ」は、機会がないと気付くことがなかなかできません。今回の授業を見て、大事なことだなと感じました。(1年)
- ・動物たちのことを自分に置き換えて考えていましたね。どのお子さんも大事なことに気付いている(知っている)のだなあと思いました。(2年)
- ・「相手のことを考えて行動すること」、「友達にしてはいけないことをした時は、きちんと謝ること」をそれぞれの言葉で考え、伝えていて素晴らしいと思いました。(3年)
- ・一つの事柄でも、それぞれ違う思い、考えがあることに気が付けていたように思います。意見交換する時に、男女の区別もなく、誰とでもできていて良かったです。(4年)
- ・困っている人を見たときに、自分ならどうするか考えるきっかけになったと思います。人の意見を聞いて、「自分だったら」と子どもも考えている様子でした。帰って少し話し合えて良かったです。(5年)
- ・子どもたちが積極的に自分の意見を伝えようとする様子や、自分と違う意見に対しても、「否定」ではなく「意見交換」しようとする姿勢が良かったです。(6年)

◇人権教育講演会・・・ウォーターアートと講話(堀川玄太様・貴美子様)



アンケートより

PTA 生活教養部の皆さんが、講師の選定、打ち合わせ、準備、運営と大活躍でした。

6年生児童と多くの保護者の方に参加していただきました。

- ・ハッと気づかされたのは、子どもに笑顔で接しているかということです。この子のためという思いで一生懸命になりすぎていないか、改めて考えさせられる機会になりました。
- ・「視力が悪い人にめがねがあるように、人の支援を必要とする人もいる。」「人の支援で出来ることが増えると世界が広がる。」「もしかしたら、何か頑張っているのかもしれないという視点をもつことが大切。」など、心に残るたくさんの言葉がありました。